



議会だより

第42号

木津川市議会



ごみ袋有料化の
公聴会を開催します

11月19日(日)

(詳しくは23ページをご覧ください。)

公述人に
ご応募ください

夢色の輝きを

木津南中学校

ごみ袋有料化は継続審査	本会議・請願	2~4
財政悪化さらなる行財政改革を	決算委員会	6~7
17人が市政を問う	一般質問	13~21
市民と議会のつどい		22
わたしの意見		24

化は継続審査

市民の意見を聞く—



毎日お世話になっています

市説明会資料の
訂正を申し入れ

市が実施した説明会で
使用した資料の数値に間
違いがあったことが判明。
市長に対し、速やかに訂
正し、市民にも早急に周
知するよう、議長名で申
し入れた。

酒井・九社前より清掃
総務事務事業費を全額削
減する修正案が出された。

9月定例会は、8月31日から9月28日までの29日間で開催した。
議案8件・同意2件・認定11件・議員提案1件を審議し、
議案1件を除き、可決・同意・認定した。

ごみ有料指定袋制 の導入

ごみのさらなる減量・
リサイクル推進のため、
家庭系可燃ごみ袋を有料
にするための条例改正。
袋は7・15・30・45リ
ットルの4種類で、1リ
ットル当たり1円を徴収。
実施は30年10月から。

Q 市長は、なぜ説明会
へ出席しなかったのか。
A 参加しなかつたが、
全庁的に取り組む。

Q ごみ袋有料化は、合
併時の約束に違反。14回
の説明会で市民から多く
の疑問や意見が出たと思
うが、原案を修正しなか
つたのはなぜか。

11月に市民の意見を聞
くため、公聴会を行う。

A 厚生常任委員会で議案
の継続審査を決定。

Q 補正予算第2号は、3
億1288万円とする。
内容は、市工コ生活応
援補助金の増額や、女性
活躍推進法に対応するシ
ステム改修費など。

一般会計補正予算

ごみ袋有料化議案が繼
続審査となつた。ごみ袋
の間違いがあつた。いつ
たん有料化関連予算を撤
回するのが当然である。

宮嶋 良造

原案賛成討論

ごみ有料指定袋制導入
に向けては、議決される
までは予算の執行をしな
いことという付帯意見を
つけた。あえて修正を行
う必要はない。

高岡 伸行

A 府の委託を受けて、
リンピック教育推進事業
の内容は。

山城中学校が車いすバ
スケットに、上狹小学校が
シッティングバレーボー
ルに取り組む。

修正案賛成少数で否決
(賛成5人・反対16人)
原案賛成多数で可決
(賛成16人・反対5人)

修正動議を提出

9月定例会

木津合同権門等権門閉鎖時の内水排除対策として、排水ポンプ車（8トン車、車載ポンプ毎分7トン車、車載ポンプ毎分7・5立方メートル・4台）ポンプユニット（毎分5立方メートル・2台）を立方メートル・2台）を5270万円で購入。合同権門の排水能力が每分220立方メートルとなる。



昨年購入の排水ポンプ車とポンプユニット

全員賛成で可決

議案が継続審査となつたため、請願も継続。

議案が継続審査となつたため、請願も継続。

**賛成多数で可決
(賛成12人・反対9人)**

家庭系ごみの有料袋制の中止を求める

ごみ有料指定袋制に對し、議会として市民意見聴取を求める

核兵器禁止条約の署名と批准を求める

請願

意見書

請願内容
これまでの努力で市民一人当たりのごみ量は、減っている。今、必要なことは有料化でなく、協力してさらなる分別と減量を進めること。新たな家計の負担となるごみ袋有料化は中止するべき。

請願内容
ごみ袋有料化をめぐる賛否は大きく分かれる。ごみ袋有料化は、市民全員に負担を求めるもので、市民の意見を丁寧に聞くべき問題。

請願内容
議会として、議会基本条例に基づき、採決前に市民の意見聴取会を行うよう求める。

請願者
霜田 勤・中野やすこ
辻野みさを・脇田 正利
宮本真理子
紹介議員
宮嶋 良造・森岡 譲

請願者
木津川市未来会議
紹介議員
九社前聿朗・西岡 政治

提出者
西山幸千子
炭本 範子・森本 茂
九社前聿朗

請願者
立方メートル・2台）を5270万円で購入。合同権門の排水能力が每分220立方メートルとなる。

請願者
木津川市未来会議
紹介議員
九社前聿朗・西岡 政治

提出者
西山幸千子
炭本 範子・森本 茂
九社前聿朗

特別会計等決算状況

万円未満の金額は切り捨て

特別会計名	収入額	支出額
国民健康保険	80億2364万円	78億2516万円
後期高齢者医療	7億5790万円	7億4847万円
介護保険	43億8179万円	41億9869万円
公共下水道事業	18億3745万円	16億5732万円
簡易水道	1億5157万円	1億4519万円

特別会計名	収入額	支出額
4財産区	1456万円	1296万円
公営企業会計	収入額	支出額
水道事業	25億5424万円	27億7118万円
(収益的収支)	17億2795万円	16億7131万円
(資本的収支)	8億2628万円	10億9986万円

一般会計における主要財政分析指数

区分	28年度	27年度	数値の説明
財政力指数(3力年平均)	0.655	0.652	指数が1に近いほど財源に余裕がある
経常収支比率	97.8%	96.1%	財政構造の弾力性を判断する指標
実質公債費比率(3力年平均)	11.0%	11.6%	市の収入に対する実質的な借金の比率

28年度決算監査報告(要約)

全ての会計が黒字。しかし、市債残高は年々増加しているため、留意が必要である。
税の収納率が向上し続けており、税外債権の滞納対策が進んでいることは評価。
市民サービスを低下させることなく、持続可能な財政運営を望む。

ごみ有料指定袋の予算に付帯意見を付ける

補正予算特別委員会

9月11日に委員会を開会。一般会計予算を354万円減額し、297億1,208万円とするもの。賛成多数で可決。

主な質疑

- Q** スマートウェルネスシティプロジェクト事業
A 事業不採択の理由は、審査基準にのつとつた結果と聞いており、照会したが明確な回答は示されなかつた。
- Q** 地方創生の一環で市长肝いりの事業と理解しているが、次年度に向けて展開する予定は、健康増進につながる取り組みであり、消極的にならず再チャレンジを。実施予定はないが、研究
- Q** 工期は。
- A** 花野果市の増築（約50m²）に対する補助。13年との開業時に1割を補助しており、農林水産業の特認補助金事業として1割を補助する。
- Q** 分別ガイドブックは毎年更新か。転入者への配布は。また、チラシ部数は適正か。
- A** 必要に応じて増刷し、転入者へも配布している。チラシは広報発行部数に合わせている。
- Q** 付託先の厚生委員会において条例改正案は継続審査となつた。本事業の予算執行はどのように対応をするのか。



増築される はなやか市

補正予算に対する付帯意見

議案47号（廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正について）は、付託先である厚生常任委員会において、閉会中の継続審査となつた。については、29年度一般会計補正予算で、同議案に関連する予算が計上されているが、議決されるまでは予算の執行をしないこと。

A 根拠となる条例改正案が可決されるまで、予算執行はできない。

修正動議を提出
ごみ有料指定袋の事業費を削除

修正案賛成討論
厚生委員会でごみ袋有料化議案が継続審査となり、予算を削除すべき。
原案賛成少数で可決

委員長	谷川光男
副委員長	谷口一夫
委員	西山幸千子
	柴田はすみ
	山本和延
	伊藤紀味枝
	片岡範子
	炭本廣
酒井弘一	谷川光男 西山幸千子 柴田はすみ 山本和延 伊藤紀味枝 片岡範子 炭本廣

る行政改革を

決算特別委員会

決算特別委員会（森本茂委員長・森本隆副委員長）は、議長と監査委員を除く20人で、9月21日・22日・25日の3日間、28年度一般会計歳入歳出決算認定の審査を行った。収支は4億6171万円の黒字で、事業繰越金2億987万円を引いた実質収支は2億5184万円の黒字となつた。基金残高（貯金）は、111億5860万円で8億1636万円減少。地方債（借金）と債務負担行為の残高は404億2071万円（前年比35億4121万円減）。経常収支比率は97・8%（前年比1・7ポイント悪化）となり、過去最悪の財政状況となつた。

主な質疑

Q 梅美台集会所建築の坪単価は100万円を超えている。設計監理で700万円もかかっているが、高いのでは。A 集会所の耐久性も考えて設計している。

Q 職員の時間外労働時間を超えるのは何人か。

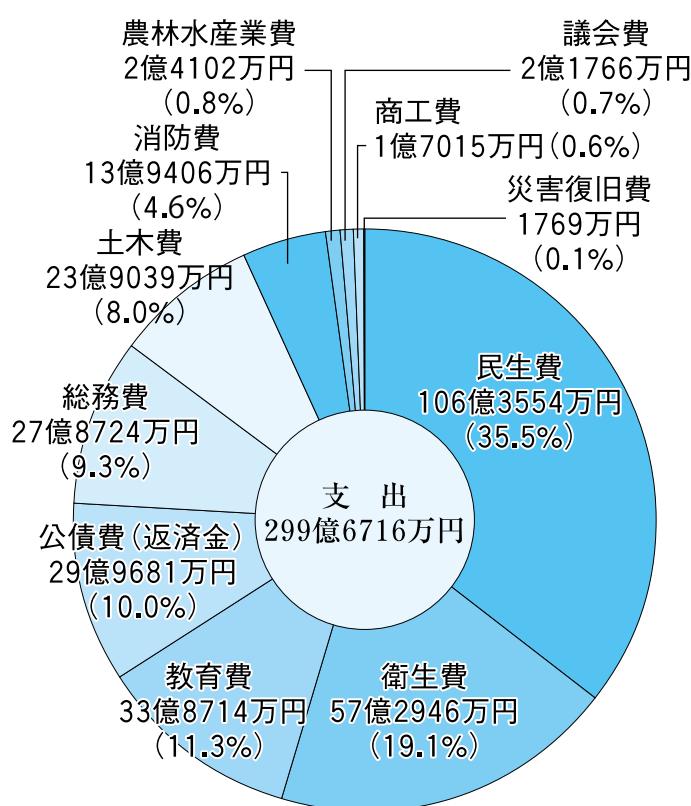


10月末引き渡しの梅美台4・5・6丁目集会所

A また、府内で一番多い時間数は。
延べ165人。
年間で653時間。

集会所の坪単価

（市長室・総務部等）



主な事業の決算額 (28年度一般会計)

- 子育て支援医療費助成 3億2073万円
- 認定こども園(藍咲学園)施設整備補助 2億7588万円
- 放課後児童クラブ施設整備(上狛・棚倉) 6115万円
- 新設学校給食センター用地取得等(梅美台7丁目) 1億4133万円
- 広域道路網の整備(東中央線等) 1億8734万円
- ごみ処理事業(西部塵埃処理組合と民間委託) 10億5600万円
- クリーンセンター(環境の森センター・きづがわ) 整備 30億4230万円
- 梅美台保育園施設の市債繰上償還 1億5902万円
(万円未満の金額は切り捨て)

財政悪化さらなる

A 昨年度は保育所入所相談と育児・発達相談などで1706件の活動をした。

Q 保育コンシェルジュの活動の効果は。

(市民部・健康福祉部)
保育コンシェルジュ
Q 保育コンシェルジュの活動の効果は。

A 昨年度は保育所入所相談と育児・発達相談などで1706件の活動をした。

自由討議

①決算資料を成果と課題が分かるものへ、さらなる改善をすすめよ。

反対討論
市民の暮らしへの手立ては不十分、国保は評価、介護保険は高すぎる。

賛成多數で認定

②棚倉児童クラブ建築費等が高額すぎる。今後はもっと精査を。
2件とも賛成少数で否決
安全に積極的に取り組み、経常経費縮減に努力。

Q JR奈良線の複線化は線化の進捗と3期の見通しは。

A 2期の工事は、順調にすすんでいる。引き続き全線複線化に向けて要望していく。

給食センターの生ごみ

Q 3給食センターの生ごみを事業系ごみとした根拠は。

A 28年度から3給食センターおよび18学校も事業系ごみで処理している。

賛成討論

質疑終了後、次期予算への政策提言課題2件の討議を行った。

Q JR奈良線の第2期複線化の進捗と3期の見通しは。

A 29年度分の工事については未着工で、現在協議中。

道路高については、国と府で計画段階で、市は早期着工を要望している。



4月開園の藍咲学園

赤田川の関連事業

Q 赤田川の旧大野樋門の撤去時期と、府道バイパスの道路高は。

A 29年度分の工事については未着工で、現在協議中。

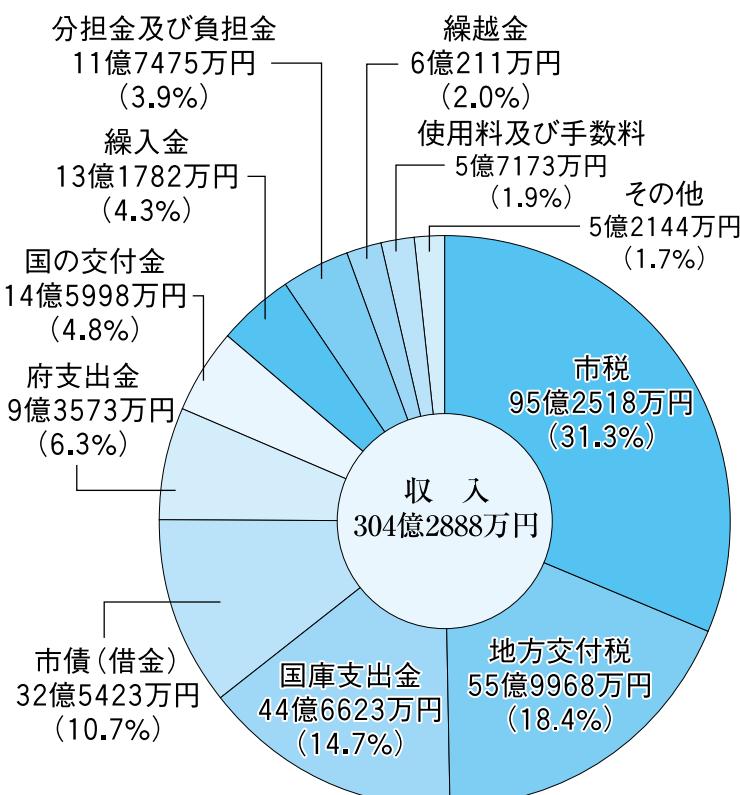
道路高については、国と府で計画段階で、市は早期着工を要望している。

赤田川の関連事業

介護サポーターの役割は

Q 介護予防サポーター58人を養成されたが、どのような活動をされるのか。

A 地域住民の介護予防の担い手となっている。



常任委員会のつとめ

個人市民税の減額分は国費補填

総務文教委員会

9月4日に委員会を開会し、認定4件、議案3件、報告3件を審査した。

全議案認定・可決



改修された里区公民館

- Q** 国が全額補填すると聞いているが、どういう
- A** どちらも、改正後は控除額はどう変わるのか。
- Q** 今回の条例改正で、配偶者控除と配偶者特別控除額はどのように変わるのか。
- A** 控除を受ける本人の合計所得金額に対する制限が設けられる（上限1千万円）。

- Q** 全員賛成で認定
- A** 里区は公民館の老朽化による雨漏りやモルタルの補修等。
- Q** 全員賛成で可決
- A** 里区は公民館の老朽化による雨漏りやモルタルの補修等。

- Q** 公社
- A** 里区は公民館の老朽化による雨漏りやモルタルの補修等。
- Q** 全員賛成で認定
- A** 里区は公民館の老朽化による雨漏りやモルタルの補修等。

報告案件

ワード DBO方式・PFI-BTO方式

DBO方式とは、行政が資金を調達し、民間事業者に設計・建設・運営等を一括で委託。

PFI-BTO方式とは、民間事業者が資金調達を行い、設計・建設・運営を行う。所有権は施設完成後に行政に譲渡。

事業概要
・542室への空調設備（小・中学校、幼稚園）

中間報告
従来からの市が発注・施行する方式、DBO方式、PFI-BTO方式、リース方式の4つの手法で比較検討を行った。

PFI-BTO方式が最も良い評価との中間報告であった。

空調設備へのPFI導入可能性調査の中間報告
（設置1年、維持管理13年）

事業期間
14年間
（設置1年、維持管理13年）

A 当初に修繕費を計上しているが、急きよ対応が必要な修繕が6件発生しているが、緊急により行つたものか。

A 時効消滅となつた19年度から22年度分を不納欠損額が2310万円残り、年度分を処理したのか。Q 2764万円の不納

公共下水道決算

公共下水道決算

合同樋門の能力向上に ポンプユニット購入

産業建設委員会

9月7日に委員会を開会し、認定3件、議案1件、報告2件を審査した。

全議案認定・可決

Q 債権放棄報告書の内

A 27年度決算より1人分少ない39人分を債権放棄した。

したため。

全員賛成で認定

了
了
了

A 地方公営企業会計の移行に伴い、資産・財産の把握は完了したのか。
財産調査もすべて終

区域の拡大によるもの。
改善策は、戸別訪問し、
水洗化助成制度を説明。

Q 下水道の普及率が前年度と比べ少し悪化したが、改善策は。



排水能力のアップを進める合同柵門

全員賛成で認定

A 受水しているが、災害等緊急時の連絡用としても必要であり、維持管理が目的。

Q 奈良市から受水を行
Q 府営水道宇治、乙訓
木津3系統の統合状況は
A 系統により水の需要
予測が異なる。府に要望
している。

収益的收支は3992
万円の純利益。

水道決算

全員賛成で認定

Q 消費税還付金が発生しているが内容は。

A 前年度に購入したものと同じ30年。山城支所を予定。

Q 以前にも指摘したが
緑化協会の役割として草
刈や耕うんの仕事を行う
必要があるのか。事業内
容を精査するべき。

報告案件

全員賛成で可決

**排水ポンプ車および
ポンプユニット買い入れ**

採決結果

賛否の分かれた議案のみ掲載
賛成=○ 反対=X 退席=△ 欠席=空白 議長は採決に加わらない

議員名	会派名	議案名(第3回定例会)															核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書	
		平成29年度一般会計補正予算第2号に対する修正動議	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	平成28年度水道事業会計決算の認定	平成28年度旧当尾村財産区特別会計歳入歳出決算の認定	平成28年度旧船原村財産区特別会計歳入歳出決算の認定	平成28年度旧加茂町財産区特別会計歳入歳出決算の認定	平成28年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	平成28年度旧北村旧免並村旧里村財産区特別会計歳入歳出決算の認定	平成28年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	平成28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	平成28年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算	平成28年度一般会計歳入歳出決算の認定					
谷口 雄一	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
森本 隆	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
高岡 伸行	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
山本 和延	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
伊藤紀味枝	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
尾崎 輝雄	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
倉 克伊	さくら	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
長岡 一夫	民主未来	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
河口 靖子	民主未来	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
炭本 範子	民主未来	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
西岡 政治	民主未来	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
西山幸千子	共 産	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
森岡 譲	共 産	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
宮嶋 良造	共 産	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
酒井 弘一	共 産	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
森本 茂	木津川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
片岡 廣	木津川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
谷川 光男	木津川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
柴田はすみ	公 明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
島野 均	公 明	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	×	×	
九社前津朗	無 会 派	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
高味 孝之	議 長	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
採決結果		認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	認定	可決	可決	否決	可決

さくら=さくら会 民主未来=民主未来クラブ 共産=日本共産党木津川市議員団
木津川=木津川の会 公明=公明党 無会派=会派に属さない議員

一般質問

A 総務部 行動計画
災意識社会」が必要で
②地域や社会全体で「防
災意識社会」が必要であ
れで、行動計画（防災
行動計画）で対応した。
などタイムライン（防災
行動計画）で対応した。

Q 市内交通事故に対し
て、ビッグデータを

Q ①今年の台風5号の
災害対応は。
②災害に対して防災、減
災にどう取り組むのか。
A 総務部 ①木津川の水
位に伴う樋門の閉鎖
などタイムライン（防災
行動計画）で対応した。

ビッグデータを利用せよ

作成しているタイムラインで対応

タイムライン発動で命を守れ



公明党
島野 均

聴覚障害者の窓口対応は

①市内の聴覚障害者は何人か。

②市役所窓口で専用タブレットを使用しては。

A 総務部 交通事故統計など交通安全のデ

り、出前講座、市防災訓練を通じて意識を高める。初動体制を図るため、自主防災組織の設立支援に努める。

①木津川の水位に伴う樋門の閉鎖などタイムライン（防災行動計画）で対応した。



木津川市防災訓練（昨年の様子）



<http://www.kizugawa-city.stream.jfit.co.jp/>

インターネットで市議会の生中継や録画配信がご覧いただけます。

木津川市議会

検索



一般質問

Q 有権者が投票しやすい環境を整備する取り組みを問う。①期日前投票所の状況は。②イオンモール高の原等で期日前投票を実施する予定は。

A 総務部 ①期日前投票の比率は、19年は約14%だったが、28年は約30年4%に增加了。

②「木津川市国民保護計画」で市の責務と役割は。③有事の際の伝達手段は。

①期日前投票月の知事選に向けて、イオンモール高の原で設置を検討している。

②イオンモール高の原等で期日前投票を実施する予定は。

イオンモール高の原を検討

期日前投票所の拡充を



さくら会
森本 隆

A 総務部 ①市民への情報提供と生命・財産を守ること。②Jアラートで防災行政無線による音声と防災情報メール、TV等で伝達する。

①「木津川市国民保護計画」で市の責務と役割は。③有事の際の伝達手段は。

Q 可燃ごみ袋有料化の導入目的を問う。①有料化でごみ減量をしないと市民の負担はどうなるのか。②今後30年間のごみ処理費用の見通しは。

A 市長・市民部 ①現状ごみ1日35トンが最大39トンに増加し、市民の負担になる。②ごみ減量を経費削減につなげて、現状の住民サービスの維持に取り組む。

Q ごみ袋有料化の目的は

市町名		排出量 [g／人・日]	リサイクル率
木津川市	平成11年度	724g	25.7%
	平成21年度	709g	25.2%
	平成27年度	720g	21.3%
精華町	平成11年度	835g	17.3%
	平成21年度	679g	29.5%
	平成27年度	645g	27.9%

ごみ処理状況表（京都府のHPより数値抜粋）

Q 市民説明会において配付された資料の中、27年度の市の可燃ごみ・その他のごみの数値、また、リサイクル率が環境省の数値と差異がある。また、市の図表は、市のごみ減量施策が進んでおらず、精華町のごみ処理状況を参考にすべきでは。

Q 加茂地域から木津間に於いて、バス運行について、路線改善計画はないのか。

Q 8月に南加茂台地域において、水道管破損による濁水被害があつた。給水車の配置が1力

A 市民部 廃プラスチック類等の内数計算によるもので差異はない。

A マチオモイ 実証運行結果を受け、引き続き協議会で検討する。

A マチオモイ 実証運行結果を受け、引き

くさんの問い合わせをいただいた。職員で配れる範囲は配ったが、市民の協力を得ながら、対応していきたい。



会派に属さない
九社前津朗

所しかなく、高齢者が給水場所まで行けない。また、広報が聞こえない。市の危機管理意識の欠如と考えるが。



西部出張所に期日前投票所を（イオン高の原内）

防災対策に万全の体制を

訓練への協力等を積極的に行う



右折信号の設置を（梅美台交差点）

さくら会
伊藤紀味枝

子どもたちの事故防止を

Q 子どもの自転車等の事故防止を。①市内の自転車事故件数は。②

安全対策と指導は。③ブレイブボードの指導は。

A 総務部・教育部①今年前半で8件。②警察署員の交通安全教室を開催。③公道では乗せない。

年中学校は年に2回から4回実施。⑤定期的に維持管理をする。

Q 全国各地で風水害や地震等による甚大な被害があった。市の防災対策の取り組みを問う。

①防災行政無線が聞こえにくいなどの苦情がある。対策は。②戸別受信機の利用者数は。③自主防災組織の啓発と指導は。④保育園等や小中学校の避難訓練は。⑤Jアラートの作動は万全か。

A 総務部・教育部①個別にスピーカーの向きを調整する等の対応。②施設や地域長宅等で204台（木津95台・加茂62台・山城42台他）。要配慮者等で土砂災害警戒区域の方に年度内に渡し

認定ヘルパー制度の創設を

ふれあい支援員で対応

公明党
柴田はすみ

い。国や府の財源を活用できるよう紹介。

矢印信号を設置せよ

梅美台の交差点は、城山台からの車が増えにくく、事故が多い。右折信号を設置せよ。

A 総務部 認識している。

。公安委員会に要望する。



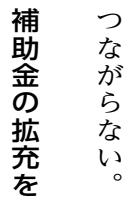
戸別受信機の早期拡充を

Q 軽度支援者のために、ヘルパー等の資格がない場合、一定の研修を受ければ家事援助等で利用する「認定ヘルパー制度」を創設する考えは。

A 健康福祉部 シルバーパートナーハウスに委託して「ふれあい支援員」事業を実施。7人の登録で2つとも、難しい面もあり、

Q 認知症と疑われる人を訪問、支援を提供する認知症初期集中支援チーム（医師、保健師、介護士等）の稼働状況は。

A 健康福祉部 現在2つの補助金制度の創設を。

公明党
柴田はすみ

性化のため、頑張っておられる団体に、独自の補助金制度の創設を。

A 総務部 認識している。

。公安委員会に要望する。

Q NPO法人等市の活動の拡充を

A 政策監 市の財政状況ではなかなか難し

一般質問

Q 京都山城医療センターで心臓ペースメーカーの埋め込み手術を受けた方が自立支援医療を申し出たらできないと言われた。病院の診療科目が国指定の心臓脈管外科でなく心臓内科であるためとの説明であった。市はどう考えるか。

A 健康福祉部 この件で使えたなかつたといふのは数件聞いている。府は心臓内科でも可能と宣言。病院へ指定機関申請の検討を要請した。

A 総務部 円滑に推進できている。よりよい制度となるよう努める。

病院へ申し入れを行った

自立支援医療を実のあるものに



日本共産党
酒井 弘一

老人福祉センターの管理

Q 市が区長制度を廃止し行政地域制度を施行して8年。地域では地長や行政に不満の声がある。

Q 老人福祉センター条例の設置目的や事業の文言は極めて不適切。改めよ。

Q 指定管理者の決定方法は条例違反。公募を行え。

A 健康福祉部 「指導」などの文言は実態に即して検証する。

他に適当な団体がない

制度の成果や課題を検証すべきだ。

で社協を特命指定した。



自立支援指定医療機関の京都山城総合医療センター

防災行政無線の改善を

Q 防災行政無線の声が聞きづらい、音が割れて聞き取りにくいなど声や意見を聞く。早急に改善を進めるべき。

A 総務部 防災行政無線で伝えられた内容について、さらに詳しい情報を探信している。防災情報を発信している。防災情報メールやFAX受信の

Q 運動部の休養日の基準を設定しているのは全国で42・9%。国際教員指導環境調査で、教員の長時間勤務が問題となっている。市の考えは。

Q 部活休養日の基準設定を登録を啓発していく。

A 教育部 部活動は、週1回の休養日を設定した。今後は、業務改善、地域力の活用、教職員の意識改革を中心に進める。

A 健康福祉部 障害者支援の利用や提供に制限をかける結果になつた。山城南圏域障害者自立支援協議会と協議して問題の解消を進めよ。

Q 地域支援事業の制度と運用が大きく変わった。



民主未来クラブ
長岡 一夫

障害者地域生活支援事業



防災行政無線の改善点と対応は

スピーカーの調整などで対応

Q 地域支援事業の制度と運用が大きく変わった。

しかし、今回の改定は登録を啓発していく。

A 教育部 部活動は、週1回の休養日を設定した。今後は、業務改善、地域力の活用、教職員の意識改革を中心進めることで、教員指導環境調査で、教員の長時間勤務が問題となっている。市の考えは。

A 総務部 円滑に推進できている。よりよい制度となるよう努める。

A 総務部 円滑に推進できている。よりよい制度となるよう努める。



東中央線「新架橋」に愛称を

財政非常事態脱却の具体策を問う オール木津川で持続可能な財政に



木津川の会
森本 薩

Q ① 28年度決算で経常収支比率が97・8%と悪化した要因と脱却策は。(2)行財政改革で正職員数の抑制、非正規職員数の適正化、特別職の人物費見直し、電力等コストの削減とLED化促進を。(3)行政サービス改革で窓口業務等の民間委託

を。④自ら稼ぐ行政経営で、企業版ふるさと納税や城山台の配水池、中央体育館、大仏鉄道沿道の通称名にネーミングライツの導入を。

設の再編やさらなる行財政改革と市民を含むオール木津川でこの難局を切り抜けたい。(2)(3)個々具体的な提案について第3次行革大綱の中で十分検討する。(4)企業版ふるさと納税は有効な手段と認識する。ネーミングライツも検討する。

A建設部①府に伝える
②府と連携して対応
③直前と聞いている。④市で設置する。
（他に3問質問）

Q 過去10年間の経常収支比率と財政力指数相当厳しい数字である。一番危機感を感じるのが経常収支比率である。悪化の原因是、経常収支比率100%を超さないための手段は、近隣市町村の状況は。

A **総務部** 財政構造の
硬直化の現れであり
危機的状況である。原因
は各種交付金の減額等に
より歳入額が減少したこ
と。今後は徹底した事業
の見直しを行い、公共施
設の廃止・統合など本格
的に取り組む。

率が前年度より悪化している。
学研木津東地区の今後は
QURの撤退が30年度で
ある。本市としての
考え方と今後の計画内容と
方向性は、URの持ち分を
市に無償譲渡された場合

合の売上高は試算された
か。土地開発等は民間事
業者に委ねるのが必至で
ある。



さくら会

の事業費は、売却した場合の売上高は試算されたか。土地開発等は民間事業者に委ねるのが必至である。



木津川市観光協会の改革は

一般質問

Q 本年3月議会で質問した交差点等の除草や「消えかかっている道路表示の更新」の進捗状況は。

道路表示の更新は、市内の主要な幹線道路および準幹線道路を計画している。また、通学路についても白線が消えかかっている箇所も併せて更新を行う。現在、年内に工事を発注する準備中。

Q 各町内・自治会の要望の達成度について次の点について聞く。(1) 5年間の要望件数は。(2) 単年度と複数年度にまたがる割合は。(3) 要望の実現数は。(4) 未実施の要望の解決は。

A 年平均で457件。
②新規182件、継続が
271件。③29年度は1
16件。④緊急を要する
もの、早急な対策が必要
なものは可能な限り対応
する。また、市道335
号は今年度調査費をつけ
て、道路の線形等も踏ま
えて、業務委託を発注し
たところである。



消えかかっている白線（川ノ尻交差点）

年内に道路表示の工事を発注

交通安全対策のその後は



実りがない田んぼ

Q 耕作放棄地対策の見通しは。
A マチオモイ 所有農地の利用に関する調査を実施し、結果を踏まえ対策を講じていく。
Q 農作放棄地に薬用植物を栽培する目的は、地元高齢者の労働力の活用、薬用植物を市の特産

品に定着、地域振興をはかる。これのメリットは、栽培農地は肥沃な土地でなくともよい。

また、有害鳥獣被害が高齢者が自分の畠で仕事ができ、失業対策にもなり、健康状態もよくなることも考えられる。

Aマチオモイ 条件がクリアできれば、関係機関と具体的な検討に入り、提案も考えている

避難マニュアルの制定

薬用植物を市の特産品に

農家の方へ検討・提案



A 健康福祉部 10月に
第1回の委員会を開

根拠崩れる有料化を撤回せよ

お詫びし訂正するが撤回しない



イオン高の原で定期的にみのり市を開催（第2土・日曜日）

Q ①なぜ市長は市民説明会に出なかつたのか。
②有料化の根拠資料にいくつもの間違いがある。③減量しづらい廃プラスごみも有料はおかしい。

④30%減量を達成した世界も有料はおかしい。⑤有料化をやめ、市民との協力で分別減量できる。

か。
明会に出なかつたの

A 市長・市民部①基本方針に基づき職員が責任を持つて説明した。

②お詫びし間違いは訂正する。議案は撤回しない。
③有料化で排出抑制が働き廃プラも減量できる。
④減量で負担は小さい。
⑤有料化によるごみ減量で環境負荷を低減する。



日本共産党
宮嶋 良造

国保・介護を上げるな

Q ①高齢者の実際はどうか。
②保険料の値上げは。
③低額無料診療所は。
④介護・国保の公的負担を増やせ。

A 市民部・健康福祉部①単身や夫婦のみが多く、病気や介護に不安

駅周辺案内図を改善せよ

Q 駅周辺の案内図を更新せよ。

A マチオモイ 市管理物は計画的に改善、他は関係機関に依頼する。

がある。②介護保険料は基金を使い抑える。国保税の見直しは避けられない。③ホームページで紹介。④国に要望している。

地方創生の成果は客数も増え消費額も増加



さくら会
高岡 伸行

府内からは微増。
夏の花火大会、2年に1回の木津川アート等定着してきている。また、農業で頑張る協議会は新しい仲間がたくさん増え、イオン高の原で第2土日に品物も出品していただいている。

Q ①地方創生総合戦略も3年目に入り中間に差しかかった。活性化へ向けた検証方法、市民へのPRが不十分では。②企業誘致により、過去2年間で雇用は何人増えたか。③安定した雇用が大きな課題である。また、女性の社会進出が

A 政策監・マチオモイ①市民・関係者の方に分かりやすい資料の作成に、前向きに取り組んでいく。②操業開始をして増えたか。③新たな新しい企業4施設で、市内の新規雇用者は80人程度。④30人程度。以上増加。

Q 地域コミュニティの充実も大切。環の廃棄、梅谷カフエ等に取り組まれたが、市外からの滞在人口は、25年に比べて増えたか。

地方創生はよい機会であり、成長できるよう頑張っていく。



家庭での生ごみ処理で大幅にごみ減量

一般質問

要望の取り扱いは住民に満足か



民主未来クラブ
炭本 範子

Q

要望は地元地域にとって大切で重要なことである。①要望453件中、予算に反映できた件数は。②様式の統一や今後の方針の記入を。③回答を郵送後、地域への対応は。

A

総務部①28年度は17件。②方針など

分かりやすい表現で回答するようにしていきたい。③希望地域には個別に説明する。

土地改良区の拠点は

など担当課と同様の仕事

内容であり、公共性が高い。加茂町の事務所が、なぜ、2階から3階へ移らなければならないのか。

市の人口は増加している。①人口減少地域の活性化策は。

②府内に、空家など相談を受ける部署が必要。基となる空家等対策計画の取り組みは。

①地域でワークショッピングを開催し、問題点を探る。

②年度内に策定する。

地域と調整を図りながら対応



広がる学校支援地域本部事業（地域の方による家庭科授業の補助）

覚悟をもって行財政改革の推進を

職員一丸となりやり遂げる



さくら会
谷口 雄一

Q

市の財政は大変厳しい状況。30年度開始の方針とその実現が重要では。

A 市長 28年度決算を踏まえ、管理職に現状を説明。合併算定替の通減が約6億円となり、次年度の予算から、すぐ

に取り組める事業の見直しを指示した。

公共施設等は合併効果を検証し、類似施設の見直しを含め、身の丈に合った行政サービスを目指していく。

A 教育部 学校の状況・地域の実態に応じて、機運が高まれば研究していく。

Q コミュニティスクールの設置を努力義務化する法改正があった。

取り組み状況と課題は。発信の方針はない。計画的・政策的な広報戦略は必要であり、部課長を中心として、機運が高まれば研究していく。

Q

定着している地域主導の学校支援地域本部事業の推進、学校主導の情報発信が必要では。

A 教育長 現在は、教育委員会として情報発信の方針はない。計画的・政策的な広報戦略は必要であり、部課長を中心として、機運が高まれば研究していく。

設置による明確なメリットや教職員の負担増について検討が必要。



歴史ある大井手用水（瓶原土地改良区管理）

「住民に読まれ、議会活動が伝わる」紙面へ

広報委員会

29年度市町村議会広報研修会が、8月22日にルビノ京都堀川で開催。住民に読まれ、議会活動が伝わる『議会広報の基本と編集について』、講師の議会広報サポート芳野政明氏から講演を聞きながら、本市の「議会だより第40号」のクリニックを受けた。

3月定例会の概要は、主な議案に対する討論・質疑が掲載され、概要も伝えており、適正である。目玉事業を大見出しにしてその動向を伝えて訴求力がある。

請願・意見書も賛否討論を示し、賛否実数を示しているのも適切との評価を受けた。



伝わる紙面づくりを目指して

一方、「代表質問とは」の説明を含むリード文、トピラページもほしいと指摘があった。

最後に総評・特徴・改善点については次の3点。

①議事公開が徹底され、水準の高い議会広報である。

もうと住民に読まれ、議会活動が伝わる紙面作りを目指して、次回の議会広報クリニックでは、さらに高い評価をいただけるように、8人の広報編集委員はその思いを共有した。

- ②見出しが具体的で的確、訴求力がある。
- ③レイアウトでもメリハリが効いて読みやすい。

11月11日(土) 市民と議会のつどい(議会報告会)を開催します

市内3会場にて、「議会だより(42号)」をもとに、市民の皆さんと意見交換を行います。

事前のお申し込みは不要です。お気軽にお越しください。

報告会の内容

1部 定例会の審議内容

2部 ごみ袋有料化について

時 間	会 場	担 当
9：30～11：30	加茂文化センター (和室)	九社前・酒井・島野・高岡 西岡・森本茂・森本隆・山本
	山城支所別館 (ホール)	片岡・河口・倉・高味 谷口・西山・森岡
13：30～15：30	東部交流会館 (多目的ホール)	伊藤・尾崎・柴田・炭本 谷川・長岡・宮嶋

※問い合わせは、議会事務局まで TEL 0774-75-1240

なお、天候により中止の場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ごみ袋有料化について 『公聴会』を開催

意見を述べて
みませんか

日時

11月19日(日)

午後1時30分から

場所

全員協議会室
(市役所5階)

厚生常任委員会では、「廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正」の議案の審議にあたって、公聴会を開催します。

公聴会で意見を述べたい方（公述人）は、所定の申込書（ホームページ・議会事務局に備え付けてあります）に住所・氏名・職業・年齢を明記、意見を述べようとする理由および問題に対する賛否を記入のうえ、議会事務局まで持参または郵送してください。

提出期限 11月7日(火)午後5時まで(必着)

応募多数の場合は、厚生常任委員会で選定の後、応募者に通知します。

問い合わせは、議会事務局まで TEL 0774-75-1240

平成29年 第4回(12月)定例会予定

月	日	曜日	会議・委員会	場所
11月	24日	金	議会運営委員会(議会招集告示)	第1委員会室(5階)
12月	1日	金	本会議(開会) 招集・提案説明・質疑・委員会付託等	議場(6階)
	4日	月	本会議(予備日)	議場(6階)
	5日	火	総務文教常任委員会	第1委員会室(5階)
	6日	水	厚生常任委員会	第1委員会室(5階)
	7日	木	産業建設常任委員会	第1委員会室(5階)
	11日	月	クリーンセンター建設特別委員会	第1委員会室(5階)
	12日	火	補正予算特別委員会	第1委員会室(5階)
	14日	木	本会議 一般質問	議場(6階)
	15日	金	本会議 一般質問	議場(6階)
	18日	月	本会議 一般質問	議場(6階)
	19日	火	本会議 一般質問	議場(6階)
	20日	水	議会運営委員会	第1委員会室(5階)
	21日	木	本会議(閉会) 議案採決等	議場(6階)
	22日	金	本会議 (予備日)	議場(6階)

- ・日程については、変更となる場合があります。
- ・本会議初日の1週間前に議会運営委員会が行われ日程が確定します。
- ・本会議・委員会は9時30分から始まります。どうぞ傍聴にお越しください。
- ・次回議会日程の他、今までの本会議の模様や会議録について、市のホームページ（市議会）から閲覧いただけます。ぜひご覧ください。

私は、木津町に生まれ、今は州見台に住んでいます。小学生2児の母です。住宅の環境や地域の結びつきも良く、住みやすく育てもしやすい街だと思います。

濱崎 加奈子さん
(州見台)

子供が小さい頃は、ガーデンモールの「つどいの広場（げんきっこ）」で子育ての手助けとともに、私も心のリフレッシュをさせてもらいました。

木津川は私たちの資源？資源？

木津川市の誕生から10年余。かつての万葉の都・恭仁京の範囲に再生した市は、合併前の3町融和の象徴である木津川を抱くことで、

中島 正さん
(山城町椿井)

これからも、子育て環境に力を入れいただき、住み良い街づくりをしてほしいと思います。

この地域の歴史や風土を一體の景観として確保しました。

しかし、木津川市に住む私たちは、稀有な「文化的景観」としての木津川を、過去から引き継いだ「資産」として意識しているのでしょうか。ふるさと木津川のために、まちづくりの中核に木津川をとらえることで、新たな魅力・価値を見出せるはずです。

お 知 ら せ

12月定例会は12月1日(金)からはじまります。
詳しい日程は、23ページをご覧ください。

議会に関するご意見ご要望がございましたら、議会事務局までご一報ください。

議会事務局直通

Tel 0774-75-1240
Fax 0774-72-8952

E-mail gikai@city.kizugawa.lg.jp

わたしの 意見

このコーナーへの投稿をお待ちしています。（220字以内）

ありがとうございます 「有り難い」

今西 信義さん
(加茂町駅東)

私は、木津川市加茂町と精華町で、新聞の販売所をしています。毎朝2時からの朝刊業務に家族や従業員たちに助けられ、日々

でも人の1秒先なんて、分からぬんです。だからこそ、当たり前なことを、当たり前ではなく、”有り難い事”と、今この瞬間を普通に過ごせることに「ありがとう」を、お忘れなく。

9月定例会は、ごみ削減に向けてのごみ袋の有料化議案に対して白熱した議論が行われました。また、28年度決算審査では、年々厳しくなる財政状況に早急な対応が求められました。

11月は、3会場での市民と議会のつどいごみ袋有

編集後記

副委員長	柴田 はすみ
委員長	河口 靖子
〃	〃
酒西 伊 森 森 本	谷 口 雄 一
井岡 藤 紀 呂	茂 隆
弘政 紀味枝	
一治	

料化に対しての公聴会があります。皆さんのが参加を盛況に終わり、冬の訪れを感じるようになりました。

お待ちしております。

広報編集委員会

柴田 はすみ